

連合町内会活動報告

本年度のしめくくり

深町連合町内会

会長 力石 秀喜

厳しい寒さがほんの少しゆるやかになりましたがまだまだ寒い日が続きますが早く春を感じる春一番が恋しいですね。皆様には平成二十九年度の町内活動に格別のご協力・ご指導を頂き大変ありがとうございました。心よりお礼を申し上げます。

本年度の予定行事を無事に終了する事が出来、本当にありがとうございました。ありがとうございました。

町内河川と溝の清掃作業の実施

二月十八日に実施しました。晴天の中無事故で終了する事が出来ました。高平川、藤井川、草刈、ごみ集め、溝の清掃活動をして頂きお礼申し上げます。

今後とも皆様と共に町内の川と地域をきれいにする為に活動します。ご協力よろしくお願います。

お礼

如水館高校野球部の皆さんに本年度も町内の河川清掃活動に参加ご協力頂き大変ありがとうございました。長靴にはき替えて町内の皆さんと共に作業をして頂き枯木草の運搬など大変助かりました。大変感謝いたします。

夏の大会へ向けてチームワークで目標へ前進してレベルアップして下さい。

感謝

深町消防団員の皆様の日頃のパトロール大変ありがとうございます。これからも防火防災をよろしくお願います。

役員の皆様へ

一年間本当にありがとうございました。行事毎に話し合い、ご意見を頂き無事予定行事を終える事が出来ました。皆様が多忙の中、町内活動にご協力頂きありがとうございます。来年度の班・講のお方に引き継がれてしつかり新しい役員をサポートして最後の一年を少しでも前進する町内になります様に協力をお願いします。

深町子どもを守る会

子どもをみんな

守りましよう。



深小の子供は

○午後四時過ぎに下校します。※日によって、異なることがあります。

○近くで、遠くで、みんなで見守りましよう。

○あいさつ 声かけをましよう。

深小だより

とんとに込められた

熱い思いに感謝!

三原市立深小 校長 松島 恵子

一月二十八日(日)「ふれあい新春広場」を行いました。雪がしんと降り、子どもたち、お家の方、地域の方々の思いを感じ、感謝の気持ちで胸が熱くなりました。秋の稲刈り。すでにとんどでは収穫時に機械で自動的に切り刻んでしまいう稲わらを、切り刻まずにわざわざ取り分けて、飾り用に大量に取り置いてくださった地域の方、お手間をおかけいたしました。ウラジロを何袋も子どもたちにとらせてくださった地域の方、六年生になつたら裏山の奥に分け入ってウラジロとりができる下級生のがれの作業となつています。今年も六年生は最高の笑顔で山を駆け巡っていました。



竹を提供してくださった地域の方。今年もたくさん竹を集めていただきました。竹取に保護者・地域の方。短時間にたくさん竹をとることができました。また、トラックを出してくださった地域の方。竹を一気に運ぶことが出来ました。固く凍った地面を辛抱強く掘り、竹を立て、柵を作ってくださいました。保護者、地域の方。今年も堂々としたとんどを組むことができました。

みかんをさす櫛を一本一本、いねいに作ってくださった地域の方。半分は割った竹にわら・ウラジロ・みかんの櫛をさした飾りの作り方を優しく教えてくださった尚寿会の方。今年も華やかなたとんどになりました。土の中から時間をかけて掘り出し、水の中に浸して、強く、しなやかなカズラを用意してくださった地域の方。火が燃え上がった後にもなおしっかりととんどを四方に引っ張っておくことが出来ました。

保護者・地域の方の厚意で、あちこちから集まってきた木。すぐには使えないと一・二年生が引っ張り出しました。地域の方が前もって切ってくださいました。怪我がないようにと三・四年生が何回も山から引いておりました。そんなたき木のおかげで、勢いよく炎を巻き上げてきたとんどを燃やすことができました。火事にならないようにと消防車で駆けつけて待機し、餅を焼くための炭を配ったり、燃

「ふかまのまど」ホームページのアドレスは <http://www.jcat.ne.jp/~fuka/top.html>

えた木の始末までしてくださったりした地元消防団の皆様。安心してとんどができました。もちつき道具の準備を抜かりなくしてくださったこと、とんどのはさぞ冷たかったこと、準備し、朝早くからかまどを準備したり、もち米を蒸して、もちつきをしたり、もちを丸めたりする体験を子どもたちにさせてくださった保護者の皆様。心に残る活動ができました。バザーで温かい食べ物を用意してくださったり、品物を売ったりして会を盛り上げてくださった保護者の皆様。子どもたちもほっこりと楽しむことができました。深町のいろいろな人たちのたぐさんの力が集まってこそできた、「おかげ様で」ありがとうございます。がいっぱい詰まったこの新春ふれあい広場は、子どもたちの郷土愛を育む大変よい機会となりました。皆様のご支援・ご協力に深く感謝申し上げます。

「ガンバの大冒険」の感想文

心を大切に

三原市立深小 六年 藤井 由香莉



ガンバ

「行こうよ仲間たち」と、仲間どうし協力しあい、助け合い、信じあう。自分だったらガンバのように勇気を出して忠太のような仲間がこまわっていても助けられなかつたと思えます。島ネズミを救えたのは、ガンバの仲間を思う強い心と、信じあう味方がいたから。そして、がんばりや・力持ち・それぞれみんな宝を持っていて、仲間がサポートする。そうして協力し合い一つのものを作ること

を学びました。私は、仲間がこまわったときに助け、自分がこまわったときには仲間を頼る。そういつた関係を作り人を思いやる心を大切にします。

この劇を通して「仲間」という言葉の意味の深さを知りました。私はこの劇を見る前までは仲間とは、何かをするときにいっしょにする人だと思っただけでした。しかし、ガンバたちをみて、信じあえるのが仲間といえるという考えに変わりました。また、これからはガンバの旅をして新しいことを見つけて、仲間を信じ、心も自分を信じ、仲間を信じ、心も大切にしたいです。皆さんのものに会い、知り、考えます。ほんの少しの勇気で変わる未来。すぐにはふり返ることができなかつたです。

深町各種団体三月行事予定

- ◆小学校
 - ▼登校指導 読み語りの会 一日
 - ▼委員会活動
 - ▼六年生を送る会 PTA役員会 二日
 - ▼学区児童会 下校指導 六日
 - ▼放課後子ども教室 八日
 - ▼卒業式準備 下校指導 一六日
 - ▼卒業証書授与式 一八日
 - ▼修了証書授与式 離任式 一三日
 - ▼学年末休業始まり 二六日
 - ◆如水館中学・高校
 - ▼高校卒業式 一日
 - ▼学年末試験 二、六日
 - ▼身だしなみ週間 七、一三日
 - ▼中学修了式 一二日
 - ▼中学・高校・終業式 二〇日

深小六年生 中学校へ向けての抱負



☆有田 一生
ぼくは中学校では、友達をいっばいつくることと勉強をがんばりたいです。ぼくは、仲がいい人以外と話すときは緊張してしまふし、勉強も苦手なのでそこを中学校では直していきなさいです。だから、中学校では、小学校で出来なかつたことに挑戦したいです。

☆入川 率
ぼくは、中学校で部活をがんばります。部活は、いままでより難しく大変になるので、一生けん命がんばりたいです。また、友達と仲良くしたいです。たくさん友達をつくって楽しい中学校生活にしたいです。

☆小澤 拓真
ぼくは、中学校に行つたら勉強と部活をがんばりたいです。理由は、勉強が難しくなるからです。部活は、陸上クラブに入るつもりなので、楽しく体力をつけたいからです。ぼくは勉強と部活を中学校でがんばりたいです。

☆木谷 一斗
ぼくは、中学校で部活をがんばります。部活はバスケットボールをします。理由は、バスケットボールをやってみると、すごくおもしろいからです。だから、ぼくは中学校でバスケットボールをがんばりたいです。

☆脊戸 天斗
ぼくは、中学校に入ったら勉強や部活をがんばりたいです。理由は、小学校では、できないことも中学校であるので楽しみたいからです。ぼくは勉強して、みんなの役に立てるようになります。

☆百々 瑛大
ぼくは、中学校に行つたら勉強もスポーツもがんばりたいです。理由は、小学校より勉強が難しくなり、試験などがあるからです。だからぼくは、勉強もスポーツも両方していきたいです。

☆西 颯太郎

ぼくは、中学校が楽しみです。理由は、三原・中之町の新しい人達と混ざって、一クラスの人数も変わって、世界がもっと広がるからです。また、部活と勉強もしっかりこなせるように頑張りたいです。

☆船本 志伸

ぼくは、中学校に行ったら勉強と部活と習い事を両立させたいです。中学校の生活は、今までの生活よりもハードになるので勉強も部活も習い事も一生懸命がんばりたいです。また、先ばいに迷わくをかけないようにしたいです。

☆綱掛 暖翔

中学校に行っても、深小学校の友達と仲良くしたいです。なぜなら、小学校の間にたくさん思い出が作れたし、これからまた皆さんの思い出を作りたいからです。

☆北迫 陽菜

私は、中学生になったら、勉強と部活の両立を目指します。中学校は小学校と違って勉強も難しく、部活でも活やくしたいからです。また、人数もとても多くなるので友達をたくさんつくり、何事にも全力で取り組みます。

☆迫 実侑

中学生になつて勉強と部活をやりたいです。勉強も部活も難しくなるし、部活もつかると思うけど最後まであきらめずにやり切りたいです。そして、二つのことを両立し、人数が多い中で友達を作ることがんばっていききたいです。

☆佐藤 美希

私は、中学校で、勉強と部活を両立できるようにがんばりたいです。勉強は、難しくなると思うので、復習をしておきたいです。部活は、勉強をした後でつかれてると思うけど、一生懸命がんばりたいです。だから、私は、勉強と部活を両立させたいです。

☆島村 凜美

私は、部活と勉強と友達作りをがんばりたいです。部活はバスケットをやろうと思っています。私の行く中学校のバスケットボールチームはあまり強くないと聞いたので、私が強くしたいと思いました。勉強は、中学校から難しくなるし、算数が苦手だから、がんばろうと思いましたが、そして、友達もたくさん作りたいです。

☆為清 世愛

私は、中学校になったら、勉強と部活をがんばりたいです。理由は、「私はこれだけがんばった」と家族の人に見てもらいたい、喜んでもらいたいからです。そして、初めての人数の多い中学校。友達を作り、早く家族の人に私の友達を紹介したいです。中学校でがんばります。

☆藤井 由香莉

中学生になると、部活があったり、教科が増えて勉強が難しくなったりと、新しい事ばかりで大変だと思いますが、友達をつくらせて楽しい中学生生活を送りたいです。そして、たくさんの方に挑戦し、努力します。

P T A活動を振り返って

P T A会長

豊田 昌史

平成二十九年度、P T A会長を務めさせて頂きました豊田です。今年度は、三原市P T A連合会（市P連）親善球技大会の実行委員会担当が深小学校であったため、先生方や副会長、各専門部長をはじめ、二中ブロック関係者たくさんの方々の協力により無事大役を務め終える事ができました。

学校行事も地域の皆様、保護者の皆様のあたたかいご協力を頂きおかげさまで取り組む事ができました。大変貴重な経験をさせて頂きました事に感謝いたします。ありがとうございました。

消防団からのお知らせ

春の火災予防運動について

三原市消防団 深町分団 分団長 小川 和彦

春まだ浅いこの頃、町内の皆様にはますます清潔の段お喜び申し上げます。平素より消防団活動に多大なるご理解とご支援をいただき厚くお礼を申し上げます。



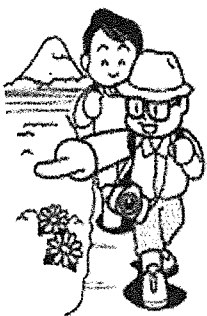
さて、三月一日（木）から七日（水）までの一週間「春季全国火災予防運動」を実施します。防火標語は「火の用心 ことばを形に 習慣に」です。

空気が乾燥し火災の起こりやすい季節になっていきます。たき火、草焼きなどはご遠慮いただき、事前に三原市消防本署消防課（TEL〇八四八―六三二二―〇一）へ連絡をしていただく事をお願いします。火の元には十分ご注意ください。

歩く会にご参加を

歩く会幹事 石井 堂照

尾道市高須 フジグラン周辺



月日 三月十三日（火） 予備日 三月十五日（木）

行程

九時 〇〇分 深町上組公民館発（車）
九時 三〇分 高須町フジグラン周辺探訪
十一時 三〇分 探訪終了 昼食
十三時 〇〇分 深町上組公民館着（車）

『栖本郡代 石原太郎左衛門之事』

嶋又左衛門

人々御中

尚々、熊本御家衆へ三宅藤兵衛方より御意候由申越候。太郎左衛門がこの様に肥後藩に助勢を求めたのは、理由があつた。三角の番頭嶋又左衛門に使者を送る三日前に、大矢野村惣庄屋渡辺小左衛門が、楠本の代官所を訪れ、「転び証文の返還とキリシタン仲間入り」を太郎左衛門に要求している。

この、「転び証文」とは、きりしたんころび申す書物の事私儀、数年きりしたんにて御座候へ共、先年御改めにつきころび申し、一向宗に罷り成り書物仕り差し上げ申候。然る処に今度赤崎村へ、ばて連参り候を御とらえ成され候故、いよいよきりしたん宗門御改めに付いて、全て書物仰せ付けられ候。惣別きりしたんの宗旨魔法の教にて御座候。内証にて、ばて連のゆゑし御座候とも、此の書物取り戻し申さず候いては、きりしたんに立寄り申す事成らざる教えにて御座候。たとえ如何様の儀申す儀御座有るまじく候。我等申す召遣ひ候者まで残らずころび申し、きりしたんの宗旨一人も御座無候。もし立寄り申し候はば、親兄弟までも火あぶり候に仰せ付けらるべく候。後日の為此の如くに御座候。以上。

庄屋 孫兵衛
同 息子 長助
同 息子 角十郎
同 息女 や、
下人 万五郎
下女 まつ
八人（中略）

合（六十二戸）百九十人
右、此の帳面判形の人數、最前きりしたんの宗旨、御法度に付き皆々ころび申し、我等檀那にて御座候。然る処に今度赤崎村の者、ばて連隠し置き候に付き、なおもつてきりしたん御改めなされ御改めなされ候。いよいよ右よりころびせ申し候。一人もきりしたん御座無候。宗門の儀に付き、少しも不届者候はば、隠し置かず申すべく候。もし自余の口より不届の様子相聞え候はば、我等越度たるべく候。仍て件の如し。
寛永十年（一六三三）
西六月二十五日
栄念

御座本権兵衛
三宅藤兵衛殿
川崎右衛門殿

※⑦ 渡辺小左衛門は、天草四郎の姉婿で、合津村などを含む大矢野村の惣庄屋でキリシタンのリーダーと言われている。小左衛門口書では、弟佐太郎が四郎姉婿と供述している。
※⑧ 高浜村庄屋上田家文書『有明町史』p337
※⑨ 証文の事。

執筆 鶴田 耕治
発行 金子みち子

深小今昔ものがたり(五)

尾道市美ノ郷町

石井哲代

子供達の基礎学力の充実の為に「自ら伸びていく学力を」として自伸学習を取り入れられました。規模が小さいからこそできた学習形態だったと、今も思うのです。算数Ⅱ各学年の計算問題と応用問題が出来る。漢字が読める、国語Ⅱ各学年の漢字が読める、音楽Ⅱ木琴の教本、符面通りが弾ける、オルガンの教本が弾ける。毎月の終わりの水曜日の午後一斉に前週の勉強が始められて、練習した子供に教えます。子供は地域別で検定を受けます。学校、励ましの声、九九の喜び、読み、読みの声、オルガンの音、木琴、ケ月練習した事の成果の発表と、進度表への記入です。大喜びの子、もう一度と言われる子供達。平屋の校舎は子供達の興奮と歓声でピンク色でした。こうして子供達の自ら学ぶ姿勢は三原市の教育会でも高く評価されました。

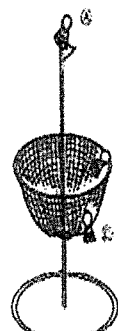
「自伸学習」として、漢字の読みと書き方を、算数の掛算九九、そして計算の仕組みと計算力、音楽はさわらねなかつたオルガンで、木琴で歌を奏でる喜びが生まれたと思います。それが又、第二中学へ進学して、深小学校の華として、音楽部で立派な美しい花を咲かせてくれたのです。或る年の市内の学校音楽会で、三原第二中学校は合奏されました。三原第二中学校は合奏されました。手島深小学校長さんが、「深の合奏隊のようだね一人だけ他校の子、あと皆深の子供だった」とニコニコしながら喜んでおられた姿が、嬉々として校舎内をあらたに刻まれております。

T B G協会だより

第七十六回三原市

ターゲット・バードゴルフ大会

第七十六回三原市T B G月例会が二月十二日（月）深町・城山コースにて行われました。



成績は次の通りです。

一位 井上キヨコ
二位 金子 勝彦
三位 天木 雅之
ベストスコア 金子 勝彦

二人組戦
一位 船本 雄三
天木 雅之

次回大会は三月十一日（日）に実施します。

※選手の敬称略 T B G事務局 天木 雅之

中学校での生活を振り返って

藤原 礼偉

僕が中学校でがんばったことは、部活動と勉強です。部活動では、毎日の練習に休まず参加し、いっしょうけんめい取り組んでいました。大会ではいい成績を残せなかったけど、毎日に取り組んだことで、テニスの知識や技術とねばり強さを身につけることができました。高校でもテニス部に入って毎日練習に取り組んでいきたいと思えます。

勉強では、日々の授業を真剣に受け、家では、毎日二時間以上の勉強をしたことで、テストでそこそこの点をとれたりしました。

高校でも中学校で学んだことを最大限にいかして、将来の夢にむけてがんばっていききたいと思えます。

中学校生活を通して

石本 幹太

中学校生活を通して、仲間を大切にすること、時間を守ることの大切さを学びました。小学校の時では一か月に一回ぐらいにクラブ活動がありました。中学校では毎日朝練、放課後に部活動があり、かなり体も疲れるようになりました。その中で定期テストもありましたが、僕はいい経験になりました。成績はABC評価だったのが、五段階評価になり、これは高校入試にも、大きく関わってくるので、今ではもう少し頑張っていればよかったです。後悔しています。だから中学校に入っても、勉強と部活動を頑張っていきたいと思えます。特に五、六年生には先のことを考えて生活してほしいと思います。また低学年は五、六年生の背中を見て協力して行ってほしいです。そして学校生活は、あっという間に終わってしまうので、一日一日を大切に過ごしていきましょう。

中学校で学んだこと

村上 加奈

私は中学校での生活で、努力を続けることの大切さを学びました。

私はバレー部に所属していました。練習や試合の時はできないことばかりで悔しい思いをすることの方が多かったです。でも、少しずつ苦手な部分を克服できるように努力して良い結果が出た時は、頑張ってきたと思えました。部活を通して、苦しいことでも諦めずに取り組もうとする気持ちが大事だとわかりました。

中学校で学んだことを忘れず、高校生になってからも頑張っていきたいです。

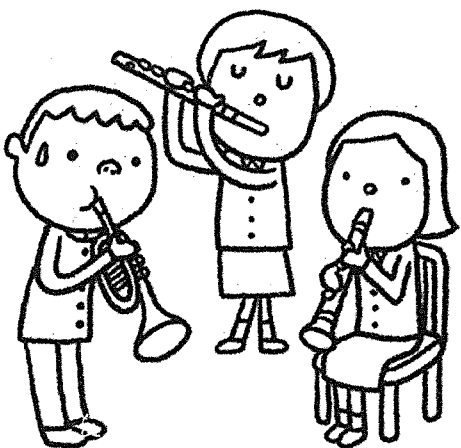
三年間を振り返って

丸山 夏奈

私にとって、中学校生活は、とても充実した時間でした。

私は、吹奏楽部に所属していました。練習では、上手いかなかったことや辛いことがありました。ですが、練習の成果が、コンクールで発揮できた時は、とても嬉しかったです。私は、吹奏楽部を通して、自分に厳しくすること、諦めないことの大切さを学びました。

これからも、中学校生活で学んだことを活かして、高校でも頑張っていきたいと思えます。



三年間を振り返って

有田 西騎

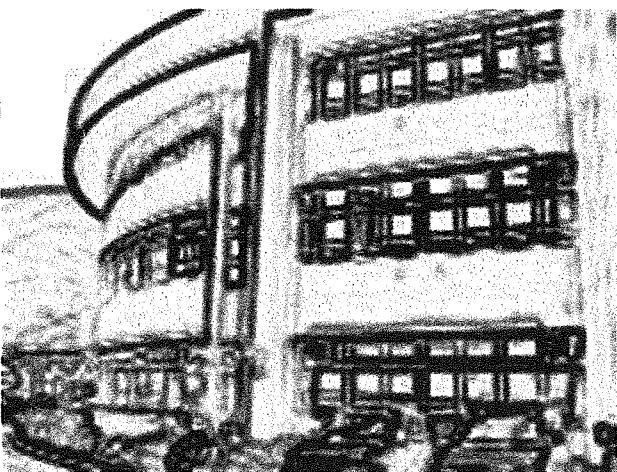
ぼくは、この三年間を振り返って、努力は人を裏切らないことが分かりました。

それは部活で、陸上をやっていた初めは無理だと思っていた県大会も、努力をすれば、出場でき、翌年には県総体で準決勝まで進めることができました。これは勉強でも同じで、苦手な教科でも、授業をしつかり聞

卒業にあたって

二中生 文集

H30年 春



き予習復習をしつかりしていると自分の目標の点を取る事ができました。

だから努力することは大切だと思えました。ぼくは中学校生活で学んだことを高校で活かしていきたいです。

三年間を振り返って

向井 梨紗

私は、二中に入ってからたくさんの友達や素晴らしい先輩に出会い、本当に楽しい三年間を過ごすことができました。

部活ではバレーボール部に入り、厳しい練習の中でも一致団結して最後までやりとげることが出来たのも、共に励まし合い助け合える仲間がいたからだと思います。

これからもみんなへの感謝の気持ちを忘れずに頑張っていこうと思えます。

三年間で学んだこと

横森 瑞希

私はこの三年間、集団で一つのことをやりとげる難しさを、そして仲間の大切を知ることができました。

これを一番実感したのは、文化祭です。中でも合唱コンクールです。初めは、声が出なかったり、そろわなかったりしていました。そんな中、学年の中で発表し合いました。ほかのクラスに圧倒され、自分たちのいけないところが見えました。

そこでリーダーを中心として、頑張ることができました。

優勝はできませんでしたが、集団で一つのことをやりとげる難しさを思い知らされた反面、達成感を味わうことができました。これは仲間がいたからこそできたことだと思います。だから、卒業し高校に入っても仲間を大切に過ごしていきたいと思います。

中学校生活で学んだこと

元川 創太

僕は、もうすぐで卒業ですが、中学校生活の中で学んだことはたくさんありました。

中でも集団行動について学びました。体育祭や文化祭の合唱コンクールなどで、集団で協力することの大切さを学びました。絶対に体育祭、文化祭を成功させるために一人一人が互いに協力をして学校全体が一つになり、この一つの目標に取り組んでいなければなりません。また、集団行動は、社会人になってからも必要なことだと分かりました。会社全体で一つの事業を成功させるために一つになって互いに協力していきます。一人でも勝手なことをしたら会社が立ちません。集団行動というものは、一人で行動することよりたくさんの方の力を借りて進みます。協力することの大切さや他の人の意見を聞くことで一人では気付かなかったことに気付ける、そういう面でも集団行動で学べることは沢山あります。

中学校生活を振り返って

丸山 夏実

私は、中学校三年間を振り返り、仲間と協力することの大切さを学びました。

体育大会では、団長を中心に練習のときから、勝つためにはどのようにするといいかアドバイスを出し、学年関係なく力を合わせ優勝することができました。文化祭では、クラスのパートリーダーを中心に、どの組よりもいい歌が歌えるように指導したり、工夫したりして一位を取れるよう努力しました。

だから、仲間と助け合うことで、絆が深まるので協力することは大切だと思えました。私は、中学校生活での経験を高校で活かしていきたいと思います。

